

八介連 理事会 委員会出席報告書

提出日：平成 27 年 10 月 29 日

作成者 小島 ゆり子 印

委員会名	高齢者あんしん相談センター中野 地域ケア会議
日時	平成 27 年 10 月 29 日（木曜日） 時間：11:00～12:10
開催場所	八王子山王病院 4F 会議室
担当理事	小島 ゆり子
参加者	八王子山王病院（院長・相談員 3 名）・八王子市高齢者支援課職員 1 名・あんしん相談センター中野職員 2 名・民生委員 2 名・多摩病院相談員・中野居宅介護支援事業所・中野デイサービス・八介連 計 13 名
配布資料	次第

報告事項（研修内容、感想、課題、問題点、考察等）

議題

医療と地域の連携

◎認知症の方への支援について

○山王病院院長より

高齢者夫婦で生活している状態で、介護者が病気になった場合二人とも入院させてくれるかの質問に対しての答え

- ・ 病棟が、万床で無い場合は相談されれば対応している

○山王病院MSWより

独居の女性が、今まで全ての世話をしてくれていた友人に対して被害妄想が始まり、友人からの援助が無くなり、また精神疾患か認知症かどちらとも判断できず入院・精神科受診につなげるのが大変だった話を紹介

○民生委員より

- ・ 認知症になっていると思うが、本人からは大丈夫と言われ受診にもつなぐ事が出来ず、援助方法が判らないで困っている
- ・ 緊急で病院について行き、民生委員の範囲の仕事では無いと思うがなかなか帰りづらい状況になる

○八介連代表

- ・ 独居・軽度認知症・生活保護受給者の入院時及び老健入所時にキーパーソンがいない場合、準備等はケアマネが出来たが手続き上困ると言われる。入院は救急搬送だった為、本人のみの手続きで済んだが、老健入所には連絡先はケアマネで特例という事に対応してもらう（現在、連絡はとっていないが何かあった時にはと聞いていた息子の連絡先に電話が繋がらなかった為、生保の担当者が調査中）

○あんしん相談センターより

- ・ すぐに援助に結びつかなくても、報告を聞いていれば何か起きた時にも様子が解かるので助かる

○多摩病院MSWより

- ・ 来年 5 月位になるかと思うが、認知症専門病棟を予定している
- ・ 外来レベルの受診を望むのか入院につなげたいのかなど、希望がどこにあるのかを検討しながら準備をしていく

結論

各機関で連携をとり、地域の見守りの力を借りて認知症の独居高齢者を見守る